

# 令和7年度 ミュージアムを活用した子どもの感性育成事業

## 目的

- ・本物の芸術と向き合いながら充実した鑑賞の授業を行うことを通して、児童の豊かな感性を育む機会を創出する。
- ・図画工作の鑑賞領域における教員の更なる指導力向上に資する。

## I 県立美術館での鑑賞授業の様子

令和7年度は、4年生と特別支援学級の児童を中心に、県内9市町の14校を県立美術館に招待し、鑑賞活動を実施しました。

児童は、自分なりの見方や感じ方で作品を鑑賞し、同じ班の児童と感想を自由に伝え合いました。また、振り返りの中で「心に残った作品と心に残った理由」について発表する場をもち、美術館を楽しむなかで感じたことを伝え合い交流しました。その活動の様子を紹介します。

### Step 1

美術館に着いたら、ガイドスタッフとのご対面。はじめの会で鑑賞のめあてと美術館での三つの約束を確認しました。

【めあて】美術館を楽しもう！

〔楽しむためのステキなヒント〕

👁️ いろんな見方を試そう。

❤️ 自分なりの感じ方を大切にしよう。

🗨️ 作品から感じたことを友だちと伝え合おう。

〔美術館での三つの約束〕

① 作品にさわらずに見よう

② 歩いて移動しよう

③ 声の大きさに気をつけよう



Step 1

### Step 2

展示室では5人程度の班でガイドスタッフと一緒に作品鑑賞をしました。

描かれたものを隠して見て「おお！」、手で枠をつくってのぞいて「あっ！」、作品のまねをしてみても「ふふふ」など、いろんな声が聞こえてきました。また、感じたことを班で自由に話し、見方や感じ方の違いを楽しみました。



Step 2

### Step 3

展示室から帰ってきて、まずは同じ班のみんなと振り返り。「あの作品が気に入った！」「私はあの作品！」おうちの人に素敵なお土産話ができただろうか？

みんなの前でお気に入りの作品について発表し、「そうだった！」「こんな感じ」「こんなのもあったよ」と身振り手振りで教えてくれる姿がとても素敵でした。

楽しい時間はあっという間でした。帰るときにはガイドさんとタッチ。また来てね！



Step 3

# 鑑賞活動の様子



先生も児童と同じように鑑賞してみる



さわってみる (さわってもいい展示もあります)



体で表現してみる



お話してみる



くらべてみる



絵の登場人物になって参加してみる



近づいてみる



下から見上げてみる



天気によって見え方がかわる



角度をつけて横からみる



360°みる

# 鑑賞活動後の児童の感想

心に残った作品はどんな作品でしたか。

小舟の絵は、海と山の色がとてもきれいだった。近くから見たら、船の影がぐにゃぐにゃだったけど、遠くから見ると本当のシルエットみたいに見えました。

(豊後高田市立高田小学校)



能面やだるまの掛け軸は見る角度によって、表情が変わって見えたり、目が合うように見えたりして色々感じる事ができました。

(日出町立豊岡小学校)

能面は正面から見ると笑っているけど、下から見ると笑顔が消えて、横から見るとしゃべっているような表情に見えました。

(大分市立松岡小学校)

明るい色のお花の絵は、自分が昼のお花畑にすいこまれていくように感じました。

(日田市立津江小学校)

「月蝕の宵」という作品は、絵に描かれているもので季節を連想させるのがおもしろいと思いました。

(大分市立高田小学校)



はじめてとても長く考えながら絵をみたら楽しかったです。次来たときはもっともっと考えながら絵を見たいと思いました。

(宇佐市立高家小学校)

アルミホイルや色紙でできているように見えてすごかったです。とてもきれいでした。

(杵築市立山香小学校)



アルミホイルをくしゃくしゃにしたような絵は、凸凹しているのかと思ったら横から見ると平らで、色々な生き物がかくれているように見えた。

(大分市立八幡小学校)

## 引率の先生の感想

- 固定概念に縛られず色んな見方（逆さまにみる、他のものに見立てるなど）をする発想がおもしろく、またそれを否定せずに「たしかに！」「こんなふうにも見えるよ」と話せていたのがすてきでした。美術館のマナーに気をつけようとする様子も見られて成長を感じる事ができました。
- 素材ボックスの絵の具の材料と、展示された作品に使われている絵の具を結び付けて見ることができていました。
- 近くで見る色と、遠くから見る色での違いに気が付いていて、普段教科書などでしか見ることができない作品を実際に見ることができる機会は貴重でした。
- ガイドさんの話が分かりやすく、児童が飽きずに想像力を働かせて見ることができました。初めて美術館で作品を見る児童にとって有意義な時間になりました。
- 今回の鑑賞ツアーで新しい視点を持つことができたので、これからの図工の時間では、いままで気が付かなかったことに気付いたり、新たな考えを持つたりすることができると思いました。
- 社会の授業で学習した小鹿田焼の作品をいくつも実際に見ることができて学びが深まりました。

## II 美術館での鑑賞後の授業実践の報告

小学校学習指導要領（平成29年告示） 図画工作科の「指導計画の作成と内容の取扱い」では、「題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習が充実するようにすること」と示されています。また、鑑賞の指導に当たっては、「地域の美術館などを利用したり、連携を図ったりすること」が示されています。

各学校では、美術館で体験した「自分なりの見方や感じ方をもつ」こと、「感じたことを友達と交流し、感じ方の違いを楽しむ」ことを図画工作の授業でも取り入れ、表現力を高める指導の工夫が求められます。

今年度の参加校も、美術館での鑑賞の活動を受けて、学校で図画工作科等の授業実践に取り組み、児童の豊かな感性の育成を目指しました。参加した学校の実践を紹介します。

### 【実践報告】

絵画

#### 造形的な視点を生かした版画表現の実践

宇佐市立四日市南小学校

絵画

#### 1つの形から発想を広げる抽象的表現の実践

佐伯市立切畑小学校

立体

#### 竹工芸の鑑賞を生かした立体表現の実践

杵築市立山香小学校

写真  
鑑賞

#### 見方を変えて発見する表現の実践

日田市立津江小学校

鑑賞

#### 絵から音を想像して楽しむ鑑賞の実践

大分市立松岡小学校

### 【事後実践】 ほって すって 見つけて

美術館で学んだ「形・色から作品の意図を想像する経験」を想起しながら、木版画の制作に取り組みました。表したい本の場面から下絵を描く際に、「どこに注目してほしいか」「どの部分を大きく表すとよいか」といった鑑賞で学んだ見方を生かし、人物や物の位置などの大きさを考えて構図を工夫しました。彫刻刀で彫る活動では、線の太さや形の違いによって表れる感じの違いに気付きながら、どのような線にすると場面の様子が伝わるかを考えて彫り進めました。刷り上がった作品は、離れて見たり近づいて見たりして見方を変えながら鑑賞し、線や形のよさを味わいました。

間がさびしかったから木を  
ほり足したよ。

太い線にしたら、  
力強くなった！

近くで見るのと遠くで  
見るの、全然ちがう！



この色にすれば、版画がもっと  
目立つね。

ここに折り紙をつけたら、  
楽しそうな感じになるね。

鑑賞で得た見方を生かしながら、自分の表したい場面に合わせて構図や線の強弱を工夫することで、発想や構想を広げることにつながる実践です。彫刻刀による線の違いや刷り上がりの効果に目を向けることで、材料や用具の特徴を生かした表現のよさに気付くことができます。



## 1つの形から発想を広げる抽象的表現の実践

## 佐伯市立切畑小学校

### 【事後実践】 同じ形を使ってえがこう

三角形や長方形、ハート形など一つの形を選び、その配置や並び方を工夫しながら絵を描きました。美術館で二重丸だけで表現された作品『烈』を鑑賞したことをきっかけに、同じ形を連続させて表現することに挑戦しました。自分でテーマを考え、形や配置を工夫して作品を完成させました。制作後は題名をふせて作品を鑑賞し、友だちが表したかったことを想像しながら話し合いました。



同じ形をいっぱい描いてみたら、  
動いているように見えて面白いね。  
トリックアートみたい。

同じ形だけで絵を描くことは初  
めてで自分たちもできると思った  
けど、難しくて根気が必要だった。  
美術館の作品はすごいと思った。



1つの形に着目して表現する活動を通して、形の並び方や配置によって生まれる造形的なおもしろさに気付くことができる実践です。鑑賞した作品をきっかけに発想を広げ、同じ形を繰り返して表すことで表し方を試しながら構想する経験につながっています。また、題名を伏せて作品を鑑賞することで、友だちの表現の意図を想像しながら見方や感じ方を広げることが期待できます。



## 【事後実践】 つないで組んですてきな形

美術館で鑑賞した竹工芸作品を想起しながら、紙バンドを曲げたり折ったりして形をつくり、組み合わせ方やつなげ方を工夫して作品づくりに取り組みました。初めは、かごなど入れ物を作っていた子どもたちも、円を利用して、帽子や動物、太陽系など想像が膨らみ、意欲的に工作活動ができました。作品ができあがったあとは、作品の意図を想像しながら、鑑賞活動を行いました。友だちの作品のよさやおもしろさをグループで話し合ったあと、作品カードを見て、作者の意図を知ること、さらにおもしろさに気づくことができました。

この前の竹細工みたいに交互に重ねたらかごができそうだね。



箱を作ったけど、円を作って重ねるのもおもしろいね。

私は、紙をさいて細いひもをつくるよ。

円を作って配置を工夫したら動物になりそう。



・これは何かな。ペンギンかな？  
 ・手のところを工夫しているね。  
 ・周りのものは地面かな。  
 ・何かもってお出掛けしているよ。魚かな？

・かごが上手にできているね。  
 ・色の組み合わせがいいね。  
 ・持ち手がついていて便利だね。



・これは何だろう。飾りかな？  
 ・上の円は青いね。色も関係あるのかな。  
 ・浮いているみたいだね。  
 →(作品カードを見て)  
 ・あっ、木星と地球だったんだね。  
 浮いている工夫をしたんだね。

### 【作品カード】

題名 (地球と木星だけの太陽系)  
 名前 松田ゆうき

#### 作品カード記入例

##### 【制作の工夫】

下の円の方で、円の中に円を入れてホチキスで止めることがむずがしかったので、紙バンドを半分に切り、固定した。

##### 【表現の工夫】

どうやったら太陽系らしくなるのか考えて、惑星と惑星をホチキスで止めて2つ並べることにした。



竹工芸作品の鑑賞を手がかりに、紙バンドという線材の特徴に着目しながら形のつくり方や組み合わせ方を工夫して表現することができる実践です。材料の特徴を生かして試しながら表す活動を通して、発想や構想を広げることにつながります。また、作品カードを用いた鑑賞を通して友だちの表現の意図や工夫に目を向けることで、良さや美しさを感じるにつながります。



### 【事後実践】 写真をとったら見えてきた

身の回りにあるものを、見る角度を変えながらタブレットで撮影しました。撮影した写真について、それが何に見えるか、何に見立てたのかを友だちと紹介し合い、作品を鑑賞しました。「これは何に見えるでしょう」とクイズ形式で発表することで、同じ写真でも人によって見え方が異なることに気づき、見方や感じ方の違いを楽しみながら鑑賞しました。



なるほど!

これは何に見えたでしょう?

ちょっと怖い目玉に見えます。



プリン🍮に見えます。食べ物を被せるやつにも見えます。



きれいな模様でダイヤモンドに見えます。



身の回りの物をいつもと違う視点で見ることで、形や色によって生まれる見え方のおもしろさに気付くことができる実践です。タブレットで撮影した写真を別のものに見立てながら紹介し合う鑑賞活動を取り入れることで、同じ対象でも人によって感じ方や捉え方が異なることに気づき、造形的な見方や感じ方を広げることにつながります。



### 【事後実践】 絵から聞こえる音

アートカードを用いた鑑賞活動を行い、絵から感じた音や雰囲気について話し合いました。美術館での鑑賞活動で学んだ、心と体を使ってさまざまな見方をするをを生かし、テーマに合う作品を選んで理由や感じたことを伝え合いました。友だちの意見を聞くことで、同じ作品でも感じ方や想像する音が異なることに気づき、見方や感じ方の違いを楽しみながら鑑賞しました。

テーマを提示して、そのテーマに合った作品を選ぶ。  
⇒班で、選んだ理由など感じたことを話す。



「うれしい」  
「悲しい」  
「友達にプレゼントするなら？」



・え～(選んだのが)一緒や!  
・なんでそれにしたん?  
・人の顔に見えるよ

・涼しい感じがするよ  
・楽しい音楽が流れてそう  
・ドラえもんの秘密道具みたい  
・その見方おもしろいね

絵から感じた音や雰囲気を言葉で表し合うことで、作品に対する見方や感じ方を深めることができる実践です。アートカードを用いてテーマに合う作品を選び理由を話し合う活動を通して、友だちの多様な感じ方に触れながら鑑賞を楽しむことにつながります。



# 令和7年度ミュージアムを活用した美術教育実践事業 県立美術館での鑑賞授業実施日・参加校一覧

月	日	曜	AM 10~12 PM 13~15	市町村名	学校名
9	1	月	AM	中津市	上津小学校
9	11	木	AM	日田市	高瀬小学校
9	12	金	AM	佐伯市	切畑小学校
			PM	大分市	高田小学校
9	22	月	AM	宇佐市	高家小学校
9	25	木	AM	杵築市	山香小学校
10	17	金	PM	大分市	八幡小学校
10	24	金	AM	別府市	亀川小学校
10	29	水	AM	日田市	津江小学校
11	12	水	AM	宇佐市	四日市南小学校
11	26	水	AM	別府市	石垣小学校
12	1	月	AM	大分市	松岡小学校
			PM	大分市	松岡小学校
12	11	木	AM	日出町	豊岡小学校
1	22	木	AM	別府市	石垣小学校
1	23	金	PM	豊後高田市	高田小学校

## Ⅳ デジタル教材を使った学校での鑑賞授業の様子

令和7年度は、県内6市町の8校から申し込みがあり、県立美術館の収蔵作品を基にした鑑賞教材を配付しました。授業を担当する教員は事前に研修に参加して、教材の活用方法や授業の進め方について理解を深めました。その後各学校にて、県立美術館のガイドスタッフによる声掛けや鑑賞の視点をまとめたデジタル資料をつかって、児童は班ごとの対話を取り入れながら鑑賞活動を行い、作品に対する見方や感じ方を広げることにつながりました。

### R7教材作品一覧

①「鮎」 福田平八郎	②「風の音」 高山辰雄
【教材について】 ・水を描かない水の表現の工夫に気付く ・空だから青、太陽だから赤、葉っぱは緑というイメージから離れて色の表現の工夫につなげる	【教材について】 ・色の効果や描かれたものから情景を想像する ・空想の世界に引き込まれるように想像を広げる
③「丘の上の大樹」 糸園和三郎	④「茶室」 正井和行
【教材について】 ・大樹から広がる物語を考える ・自分が絵の中に入ったつもりで想像を広げていく	【教材について】 ・2つの作品を比べて想像する ・作者の表現の工夫や試行錯誤を感じとる

### 授業の様子

わたしだったら、ここに座りたい

ジャガイモかな？

似ている作品が2つあります。どちらが先に描かれたと思いますか？

日陰で気持ちよさそうだね

石とかじゃないかな？

ここはどんな場所でしょう？



絵の中に自分を書き込む



描かれているものを想像する



班で鑑賞した作品をクラスの人に伝える

## 授業を実施した先生のご感想

- いろいろな見方ができて、自分なりの考えでもいいんだと思えるような動画の展開になっていて良かったです。
- 作品をいろいろな視点から見ることができ、それを友だちに伝えていく活動ができました。動画のナビゲータさんにしたがって進めることができ、取り組みやすかったです。
- 「鮎」に描かれた石は、「ジャガイモかな」「ハンバーグかな」から始まり、いろいろな思いを膨らませ、思いがそのまま言葉になって次から次へと溢れ出しました。それぞれの問いかけへの回答も子どもが一生懸命考えて、理由などしっかり伝え合っていました。想像が膨らむ教材でした。
- 「風の音」は初め不気味さを感じた子どもたちも、問いに従って考えて話し合ううちに、目に見えない風景や色や音、空気など感じ取り、作品の良さに気づくことができました。ガイドの言葉を吹き出しに書くなど、ロイロノートを活用して、交流できました。



令和7年度文化庁 文化芸術創造拠点形成事業